



奈良1区市民連合
ホームページ入り口

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める



奈良1区 市市民連合 ニューズ 第2号



奈良1区市民連合 奈良1区市民連合
奈良1区市民連合 奈良1区市民連合
奈良1区市民連合 奈良1区市民連合
入会申し込み用

10月25日
奈良県文化会館
国際ホールにて

元文部科学省事務次官 前川喜平さんが語る

子どもたちの未来のために、私たちは何ができるか？



講演中の前川さん

**子どもたちの未来のために何ができるか
→やることは政権交代**

前川さんは講演の初め、開口一番「やることは政権交代」と言われた。

そして講演の最後にもう一度「子どもたちの未来のために出来ることは、政権交代、学習権、生存権が保障される政治にしなければならぬ。今自殺者が非常に多いが、どんなに苦しくても自殺しないようにしなければいけない。問題は生きる権利が保障されていないことだ。」と。

学校は文部科学省の出先機関ではない

学校は文部科学省の出先機関ではなく、本来自由なものである。学校で学ぶものの背景には何千年にわたる自由の積み重ねによってできた学問芸術文化がある。学校の学びも教育の自主性も学問の自由の上に成り立っている。文科省が一つ一つの学校に口を出すことは出来ない。それは越権行為である。

←では学習指導要領は？

学習指導要領と教科書検定は文科省が法律に基づいて、やっているが、しかし時の政権の意向に付度して恣意的にやってはいけない。あくまでも学問の自由に基づかなければならない。(憲法23条)

学問の自由と学ぶこと

学問の自由は学者だけのものではない。全て学ぶことが学問だ。小学校に入ってイロハを学ぶことも、夜間中学で学ぶことも学問である。

自由な学びこそが学問であり、本当の学びは自由である。自由な疑問、疑念、好奇心から生まれたものが学問である。疑いの気持ちから生まれるものが大切である。

(学術会議問題については裏面参照)

**前川さんは最後にもう一度
子どもたちの未来のために何ができるか→それは政権交代。
民主党政権時代末期、不登校が一番少なかった(11万人)。**

← どうやったら疑問を持ってもらえる？

安倍ノミクスは本当はどうなの？と相手の心に疑問を植えつけるような柔らかい言い方をし、少しでも疑問を持ってもらおう。少しでも疑問を持てば多少は考えてもらえるのではないだろうか。

(前川さんの講演会報告は裏へ続く)

民主党政権時代末期、不登校が一番少なかった(11万人)。しかし第2次安倍政権以後不登校は大きく増えている。安倍・菅政権の体質と不登校は関係があると思う。つまり、学校が息苦しい場所になっている。人間より国家、人間より経済の考え方が学校にも押し寄せている。子どもたちが大切にされていないことを、子どもは感じ取っているから学校に行かなくなる。

学校を子どもたちが安心して学べる場所にするのが一番大切。コロナ下でのつめこみはいけない。先生のPCR検査を定期的に行うこと。少人数学級をやること。

もう一度ゆとり教育を取り戻すべき。子どもたちに自分の頭で考え、心の中にいろいろな疑問を持たせること。大人にも学んでもらうために、少しでも疑問を持ってもらうことも大切。

開会の挨拶 馬場淳奈良1区市民連合共同代表

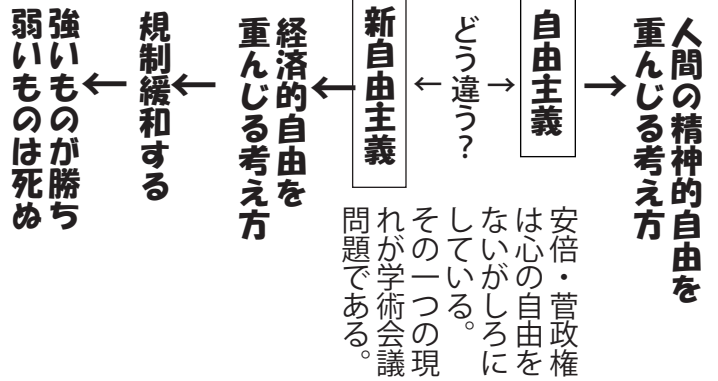
出鱈目なマヤカシ・ゴマカシ・タブラカシのアベ政権が退場、後をついだスガ政権の、開口一番自助・共助・公助と言い放つ前近代的な感覚は恐ろしい。前政権と同じ憲法を守らない人たちなのだろう。99条を守る義務がある官邸と国会議員が憲法を棄損してきた。

2015年9月19日参議院で安保法制を可決、自衛隊の海外派兵を可能にしたその大きな反対の声から生まれた市民連合の要望は、賃金、雇用、平和、人権教育と憲法が保障しているものばかりだが、保守政権では殆どないがしろにされている。

日々の生活に困窮し塗炭の苦しみの中に生きている人たち、非正規の安い給料の中で労働組合の存在も知らず、自分の努力が足りないのかと苦しむ若者、少ない年金に困窮し医者にもかかれず息をひそめて暮らしている高齢者。多くの国民の生命と暮らし、人間の尊厳と権利が脅かされている。原発・新自由主義が命の安全と安心に襲い掛かってきている。

こんな政権に対抗し政権交代を果たすためには、立憲野党が共闘する以外にない。共闘が成功するためのカギは市民が握っている。どうぞ皆さん力を貸してください。チラシの1枚でも撒いてください。そうすれば立憲野党を動かし政治を変えることが出来る。共に頑張りましょう。

日本学術会議の問題について



菅首相が学術会議が推薦の委員105人の内の6人を任命拒否したのは、恐らくこの6人が政権を批判したからだろう。しかし総理には学術会議会員に対する実質的任命権はない。菅首相は「学問の自由」の意味が分かっていないのではないか。菅首相の行為の重大性は、学術会議の独立性、自律性を破壊したことである。学術会議は学問の自由という大切なものを守る砦として独立性がある。この独立性が破壊されるといことは、中にある学問の自由が脅かされるといふ関係にある（堤防は人の命を守るためがあるが、それが決壊すると命が脅かされるということと同じ）。これは言論の自由への侵害であり、生活者の表現の自由の侵害のきっかけになる。

●愛知トリエンナーレの「表現の不自由展・その後」で展示物に問題があるとして、補助金の不交付を決めた。後日一部を除いて公布したが、これは表現の自由に対する侵害である。

●2017年の参議院選で安倍首相が札幌で街頭演説をしている時、ヤジを飛ばした市民一人をその場で警官が拘束をした。

逮捕状もなく拘束するのは憲法違反。このような形で草の根の表現の自由が侵されてきている。

学問の自由は学者の世界だけの問題ではない。学問の自由は全ての人を持っている基本的人権です。



お出かけください！

11.21 「平和といのちと人権を守る政治に！」

市民と立憲野党の共闘で政権交代を 奈良1区から野党統一候補を

市民と立憲野党の街頭トーク集会

#安保法制廃止！ #いのちとくらしを守ろう！
 #改憲反対！
 #学術会議人事介入は憲法違反！
 #学問の自由を守ろう！
 #敵基地攻撃能力保有は憲法違反！

Dates **11月21日土**
 14:00 ~ 15:00

Place **JR奈良駅前東口広場**

フラカードやアピールボードを持って 参加しましょう！

主催 奈良1区市民連合
 【連絡先】佐川 愛子：090-9885-9756
 nara1shiminrengo@gmail.com

●アクセスジャーナリズム(総理など有力者に張り付いて直接情報を得るやりかた)がはびこっている。このやり方では政権にとって都合の良い情報しか入らず、従って政権にとって都合の良い報道しかなくなる。

●調査報道↓自ら問題をあぶりだす報道。しんぶん赤旗の桜を見る会のスクープがその好例。ジャーナリズムの真骨頂と言え、最も信頼できる。

奈良1区市民連合ニュース
 発行:奈良1区市民連合
 連絡先: nara1shiminrengo@gmail.com